

## 動物の動きから動物の気持ちを探ろう

日時：令和5年7月1日（土） 9：30～12：00

場所：千葉市動物公園 レクチャールーム

参加者：41名（科学部セミナー含）

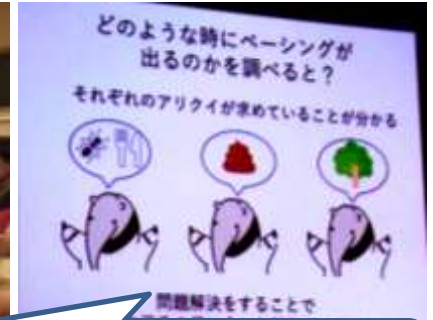
講師：千葉市動物公園 中山 侑先生



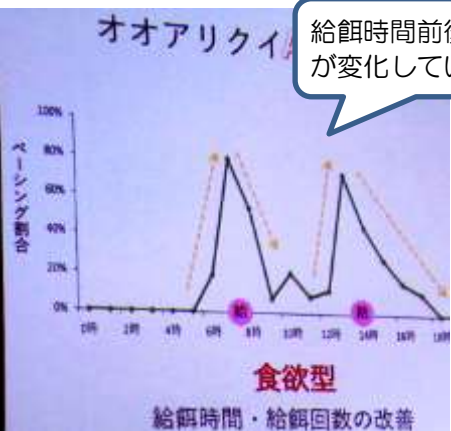
講師の中山先生



まずはレクチャールームで動物の行動観察の方法を教わりました



行動観察を細かく行うことで、それぞれの動物の気持ちがみえてきます！



給餌時間前後に行動が変化しています。



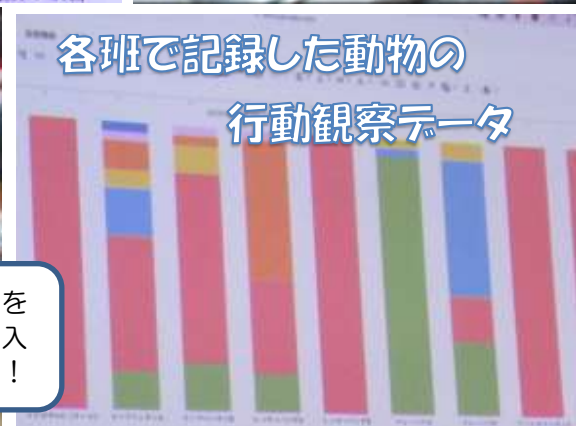
行動観察のようす



1分毎の行動を記録していきます。



観察した結果をタブレットに入力しています！



観察した結果を報告しました。

### 【受講生の感想】

- 色々な動物達の行動の意味についてよく分かりました。今回はレッサーパンダしか観察できていないので、今度は、他の動物を観察してみたいです。ささいな動きなどで、その時の動物の感情が分かることを知りました。
- 雨の中で、フクロテナカザルは全然動かなかったけど、動物の行動から気持ちを考える方法や大変さを知りました。これをもっと長い時間やるのはもっと大変だなと思いました。他の動物とかで、天気が違うとどうなのかを知りたいなと思いました。とても楽しかったです。本当にありがとうございました。
- 動物は何か欲求があるときにペーシングをするというのがおもしろいなと思いました。また、体の色にはそれぞれちゃんと理由があるのもおもしろかったです。これから動物園に行くときはペーシングしているかどうかなどを気にかけてみたいと思いました。
- 実際に動物園で動物を見て、動物が何を考えているのかを考えることができました。私達はレッサーパンダを観察しましたが、ふさふさのしっぽを、体の周りで動かしていたり、休息して眠っていたりしていて面白かったです。また、同じ種類のレッサーパンダでも、1匹ごとに動きが全然違って面白かったです。
- この講座を今後に生かして、次に動物園に行った時に、動物の気持ちを考えながら観察したいと思いました。動物が大好きだからとても楽しかったです！
- 雨で、実際に動いているところは見られなかったが、雨の中で30分動物を観察するのもおもしろいと思いました。講師の先生の説明で、動物の行動からたくさんの方が読み取れて、行動以外にも、天気の変化やちょっとしたことで、色々な変化が見られるので、そこがとてもおもしろかったです。